

第7回山口県総合芸術文化祭

第67回山口県美術展覧会要項

平成26年3月13日(木)～3月30日(日)

山口県立美術館

1 趣旨

「つくる・みる・ささえる」の創造的調和

制作の創造性を高めること（つくる）のみならず、美術作品を鑑賞すること（みる）や美術文化を支えていくこと（ささえる）もまた優れて創造的な行為であるとの意識を育成できるような、総合的な美術文化の普及と振興をはかります。

(1) 「つくる」（公募部門）

自由な意識や現代社会に根ざした作品を募集し、その優秀なものを展示します。

(2) 「みる」（ワークショップ部門）

鑑賞行為の創造性を体験してもらうためのワークショップを開催します。

(3) 「ささえる」（ボランティア部門）

広く県民から募集した美術館ボランティア・スタッフの県美展運営への参画により、芸術支援の活動を展開してもらいます。

2 会期および会場など

(1) 会 期 平成26年3月13日(木)～3月30日(日)

休館日 3月17日(月)・24日(月)

(2) 会 場 山口県立美術館 〒753-0089 山口市亀山町3-1 tel: 083-925-7788

(3) 開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

※次回の第68回山口県美術展覧会は、平成26年12月頃を予定しています。

3 観覧料

一般 500(400)円 学生 400(300)円 ()内は20人以上の団体料金

※70歳以上および18歳以下の方、中等教育学校、高等学校、特別支援学校に在学する方等は無料です。

【作品公募部門】（つくる）

4 審査員（50音順）

水沢 勉（みずさわ・つとむ）

1952年生まれ。美術評論家。神奈川県立近代美術館学芸員を経て、2011年より同美術館長。ドイツ語圏および日本の近現代美術に造詣が深い。著書に『この終わりのときにも』（思潮社）など。キュレーターとして「萬鉄五郎」（1985年）、「ケーテ・コルヴィッツ」（1992年）、「李禹煥」（1993年）、「アジアのモダニズム」（1995年）、「モボ・モガ」（1998年、カタログ・テキストで第10回倫雅賞受賞）、「新千年紀へのメッセージ—イスラエルの近代」（2001年）などを組織。コミッショナーとして第6回（1993年）、第8回（1997年）のバンガラデシュ・アジア美術ビエンナーレ、第26回（2004年）サンパウロ・ビエンナーレに参加。横浜トリエンナーレ2008「タイムクレヴァス」総合ディレクター。2011年からはUBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）審査員を務める。山口県美展の審査ははじめて。

ヤノベケンジ

1965年生まれ。美術家。京都造形芸術大学教授兼ウルトラファクトリー・ディレクター。現代社会におけるサバイバルをテーマに機械彫刻作品を多く制作。自作の放射能防護服《イエロー・スーツ》（1991年）や、《ラッキードラゴン》（2009年）など、ユーモラスな形態に、社会性のあるメッセージが込められている作品は国内外から評価が高い。第21回現代日本彫刻展（2005年）に Villa TORAYAN（ヴィラ・トラヤン）を出品。あいちトリエンナーレ2013では、東日本大震災を受けて「希望、再生、復活」をテーマにした新作の胸像《ウルトラ・サン・チャイルド》の前で実際の結婚式を行う《太陽の結婚式》を発表。山口県美展の審査は昨年度に続いて2回目。

山口裕美（やまぐち・ゆみ）

アートプロデューサー。アーティストをもっとも近くから応援する「現代アートのチアリーダー」の異名を持つ。1996年からウェブサイト“TOKYO TRASH”を、2010年には海外へ発信する“MUSUBI”を主宰。2004年 Ars Electronica 審査員。2012年上海万博記念版画制作プロジェクト委員。掛川現代アートプロジェクトプロデューサー。アート系NPO法人「芸術振興市民の会」（CLA）理事。美術館に若手アート作品を寄贈する Open Museum Project 発起人。玉川大学経営学部非常勤講師、『現代アート入門の入門』、『観光アート』（ともに光文社新書）など現代アートに関する著書多数。山口県美展の審査ははじめて。

5 出品について

搬入・展示が可能なものであれば、形式・寸法・重量・材質等は問いません。応募点数に制限はありません。

6 出品にあたっての留意点

- (1) 作品は自己の創作したものであること。
- (2) 作品は審査を伴う公募展で展示されていないものであること。
- (3) 作品は通常的美術館の活動に支障を与えないものであること。
- (4) 作品は著作権、肖像権など、他人の権利を侵害しないものであること。
- (5) 作品には、所定の出品票を、裏面右上または事務局が確認できる場所に貼りつけて出品してください。
- (6) 作品は慎重に取り扱いますが、搬入から搬出までの間における事故および不慮の災害等による作品の破損、亡失等については責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 事前協議がない場合、作品の搬入受付後に作品に変更を加えることは認められません。

7 事前協議

以下の場合には事前に事務局との協議が必要です。事前協議の受付時間内に山口県立美術館にお越しください。

- ・ 搬入や展示等に調整が必要な作品（例：組作品、3m 立方相当以上の寸法のもの、500kg 以上の重量のもの、もろい材質のもの、映像作品については機器、電源等）
- ・ 時間の経過に伴う変化・更新を前提とする作品
- ・ 特定の展示場所を希望する作品

(1) 日 時：平成26年1月18日(土)～2月16日(日) 9:00～12:00 13:00～17:00

(2) 受 付：山口県立美術館学芸事務室（休館日は通用口にお越しください）

(3) 必要なもの：展示プラン（イメージスケッチ程度のものでかまいません） ※原則として先着順です。

8 出品料

1点につき3000円を出品目録に添えて納入して下さい。受付後の出品料の返却には応じられません。

9 作品の搬入

- (1) 搬入日時 平成26年2月21日(金)～2月23日(日) 9:00～12:00 13:00～16:00
(2) 受付場所 山口県立美術館 (山口市役所側の通用門から搬入してください)

10 作品の搬出

- (1) 搬出日時 平成26年4月11日(金)～4月13日(日) 9:00～12:00 13:00～16:00
(2) 受付場所 山口県立美術館

※ 搬出は、作品預り証と引き替えに行います。

11 搬出入の費用

出品者の負担とします。返送ご希望の場合、荷造りおよび輸送経費は着払いとします。

12 審査会

審査は公開します。

審査会2日目の審査終了後、傍聴者による審査員への質疑応答等の時間を設けます。

なお、申し込みなしの傍聴はできませんのでご注意ください。ご協力をお願いします。

- (1) 日 時 平成26年2月25日(火) 9:30～17:00
2月26日(水) 9:30～12:00

- (2) 会 場 山口県立美術館

- (3) 申込方法 はがき、ファックス、メールのいずれかでお申し込みください。

記入事項：希望日・住所・氏名・電話番号

申込締切：2月23日(日) 必着

- (4) 申込・お問い合わせ

〒753-0089 山口市亀山町3-1 山口県立美術館 県美展事務局

tel:083-925-7788 fax:083-925-7790

e-mail: a19304@pref.yamaguchi.lg.jp

※記入いただいた個人情報は、第67回山口県美術展覧会審査会傍聴に関する業務以外には使用しません。

13 審査発表

山口県立美術館ホームページ、新聞、テレビ、ラジオ等で発表します。

審査結果の通知を希望される出品者には、応募時に記入いただいたはがきにより審査後約1週間程度で審査結果を通知します。(切手は出品者側でご用意ください。)

14 賞

大賞 1名 (賞状・賞金50万円・次回県美展での展示空間と展示作品の制作費50万円)

優秀賞 5名 (賞状・賞金5万円)

佳作 (賞状)

15 特別展示

前回の大賞受賞者、逢坂日出夫氏、河野文彦氏、田中径氏による新作を展示します。



第66回山口県美術展覧会大賞受賞作品

逢坂日出夫 河野文彦 田中径

「ここではない、どこかへ・・・」

【ワークショップ部門】（みる）

16 ワークショップ

作品をただ受動的に鑑賞するだけではなく、「みる」こともまた美術における重要な表現方法のひとつであるという意識の育成を目的に設けた部門です。「みる」ことの多様なあり方を、様々なプログラムを通じて体験していただきます。

「自作を語る」

第67回山口県美術展覧会入選者のうち希望者に展示作品について語っていただきます。

詳細・実施日時は、展覧会開始後山口県立美術館ホームページおよび会場入口の掲示でお知らせします。

— 素材を楽しむ－手づくり絵の具で版画を刷る —

A みんなでワイワイ・美術体験のコース 平成26年3月15日（土）10:00～16:00

B ひとりでじっくり・制作集中のコース 平成26年3月16日（日）10:00～16:00

講師 榎本 寿紀（美術家）

会場 山口県立美術館

対象 小学校4年生以上一般

定員 各日とも16名（申込み先着順）

申込方法 山口県立美術館ホームページ（<http://www.yma-web.jp/>）の申し込みフォーム、または参加ワークショップ名・参加者の氏名・年齢・住所・電話番号を記入した往復はがき、もしくはe-mailでお申し込みください。お申し込みより1週間後までに返信がない場合は事務局にお問い合わせください。

申込・お問い合わせ

〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1 山口県立美術館 県美展事務局「県美展ワークショップ」係

tel: 083-925-7788

e-mail: a19304@pref.yamaguchi.lg.jp

※ 記入いただいた個人情報、第67回山口県美術展覧会ワークショップに関する業務以外には使用しません。

【ボランティア部門】（ささえる）

17 ボランティア

美術文化との多様な関わり方を創出していくことを目的に普及活動の新しい形態を模索する場として設けた部門です。美術館ボランティア・スタッフに作品公募やワークショップ開催にともなう県美展のさまざまな仕事に従事してもらっています。

【主催・運営委員会・事務局】

18 主催

山口県

19 第67回山口県美術展覧会運営委員（50音順）

嘉村 靖 山口県総合企画部 スポーツ・文化局 文化振興課長

倉田 研治 山口県立大学 国際文化学部 講師

白田 豊 画廊主宰

中野 良寿 美術家 山口大学 教育学部 准教授 N3 アートラボ代表

濱本 聰 下関市立美術館 館長

原井 輝明 画家 宇部フロンティア大学短期大学部 特任准教授

山本 綾香 防府市地域交流センター アスピラート 事業係

20 事務局

山口県美術展覧会実施協議会

〒753-0089 山口市亀山町3-1 山口県立美術館内 tel: 083-925-7788 fax: 083-925-7790

e-mail: a19304@pref.yamaguchi.lg.jp

<http://www.yma-web.jp/>

郵便でお問い合わせの場合は、往復はがきをご使用になるか返信用封筒を同封してください。

第67回山口県美術展覧会出品目録

ふりがな 氏名	(〒 .)
生年月日	住所 (連絡先)
明・大・昭・平 年 月 日 (才)	tel: _____

記号	番号	題名	備考(素材・技法など)
※ A B	※	ふりがな	
※ A B	※	ふりがな	

- ペンカボールペンを使い、楷書で、太枠の中のみ記入して下さい。 ※は記入しないで下さい。
- 審査結果の通知を希望されるかたは、右下の通知はがきの表面に連絡先を記入し、50円切手を貼って下さい。
- 氏名は本名を書き、号は()で記入して下さい。住所は出品者本人の住所を記入して下さい。
- 出品票は、平面作品の場合は裏面右上、それ以外は右下もしくは底部にはがれないように貼って下さい。
- ご記入いただいた個人情報(山口県美術展覧会に関する業務以外)は使用しません。

受付	2 /
出品料	円

返却方法	いずれかを○で囲んで下さい
	・会場受領 4/11 (金)
	4/12 (土)
	4/13 (日)
	・県美展事務局の手配による輸送(料金着払い)
	・ご自分で手配された画材店等による搬出(業者名: _____)

※ A	※ B	※
題名		
氏名		
住所		

作品預り証

様

作品 _____ 点正に受け付けました。

平成 26 年 2 月 日

山口県立美術館

※取扱

※ A	※ B	※
※ A	※ B	※

郵便はがき

--	--	--	--	--	--	--	--

※ A	※ B	※
題名		
氏名		
住所		

作品預り証

様

作品 _____ 点正に受け付けました。

平成 26 年 2 月 日

山口県立美術館

※取扱

※ A	※ B	※
※ A	※ B	※

・作品搬出日時が4月11日～13日の9:00～12:00 13:00～16:00です。

・必ずこの作品預り証をご持参下さい。

・搬出期限を越えても受け取りに来られない作品については、出品者に断りなく処分させていただきます。

の 照 録 画 郵 便 通 知 を 差 入 れ さい

50円切手を貼って下さい

第67回山口県美術展覧会 審査結果について

平成26年2月25日・26日に実施した審査会の結果、
以下のとおりとなりましたのでお知らせします。

様

受付番号	作品名	結果
※ A B		※ 大賞 優秀賞 佳作 入選 選外
※ A B		※ 大賞 優秀賞 佳作 入選 選外

平成26年 月 日

山口県美術展覧会事務局 (山口県立美術館内)

〒753-0089 山口市龜山町3-1

tel: 083-925-7788